

2022年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修
実践編『ELNEC-J 高齢者カリキュラム看護師教育プログラム』アンケート集計結果

日時：2023年1月28日(土)～1月29日(日)

開催方法：オンライン (ZOOM)

【属性】

参加人数：51人

アンケート回答数：48名 アンケート回答率：94.1%

性別：女性47名、男性1名

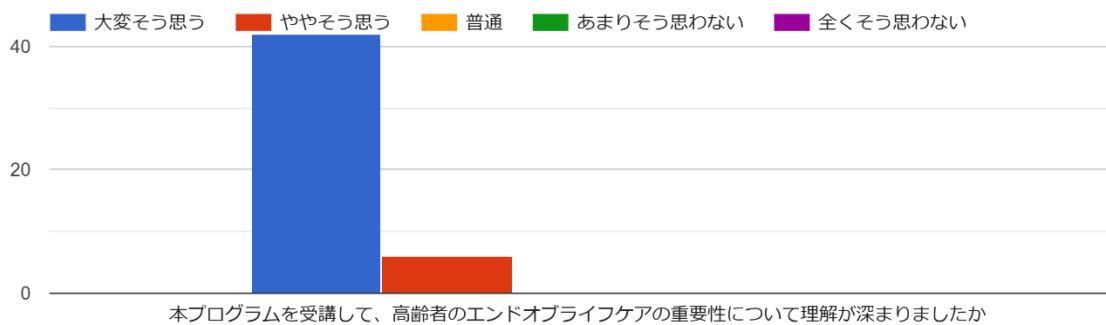
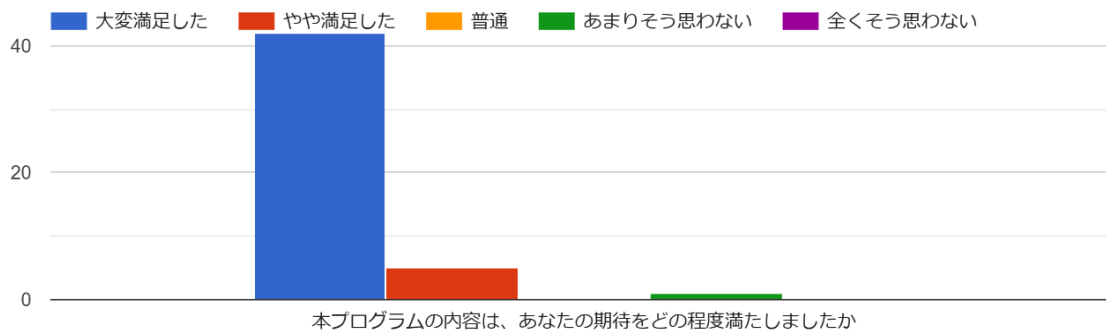
年齢：20歳代2名、30歳代10名、40歳代18名、50歳代15名、60歳代3名

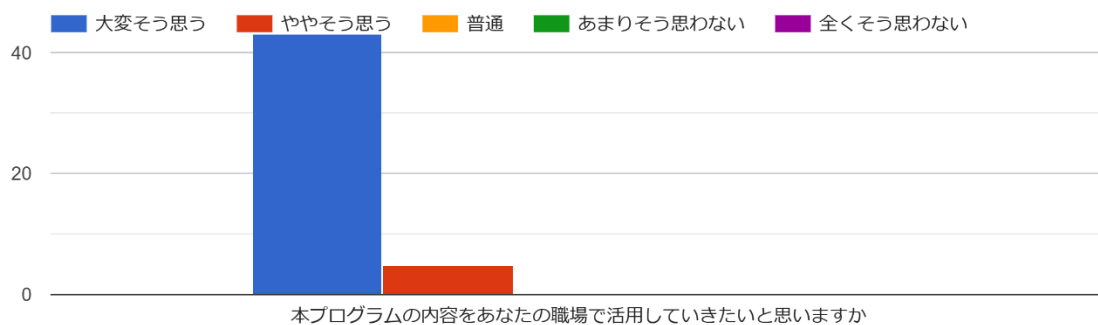
所属：一般病床17名、教育研究機関2名、療養病床4名、外来4名、訪問看護ステーション2名、地域包括ケア病棟1名、緩和ケア病棟4名、精神科病棟1名、教育研修部門・ケア開発部門1名、有料老人ホーム1名、管理部門2名、看護部1名、医療連携室1名、特別養護老人ホーム3名、介護医療院1名、未入力3名

職位：スタッフ23名、主任・副師長11名、師長7名、部長・副部長相当1名、リーダー職1名、講師1名、准教授1名、未入力3名

資格：専門看護師7名、認定看護師19名

【本プログラム全体について】





【本プログラム全体へのご意見・ご感想をお聞かせください。(自由記載)】

【研修全体への感想】

- ・ 今日の学びを自己の傾向を振り返りながら、学んだことを実施していきます。
- ・ 知識はもちろんですが、明日への活力となりました。
- ・ グループワークを通して様々な視点からのアセスメントが行え、お互いの考え方の共有ができたことがうれしかったです。また、ファシリテーターの先生が包括的に意見をまとめてくださったりしたのでスムーズなカンファレンスができました。ここで学んだ考え方を病棟全体で取り組んでいきたいと考えます。
- ・ 本研修は「高齢者」と括られています。わたしには「個別性を高めよ」と言われ続けているような気持ちになる研修でした。今はまだ自身を奮い立たせるだけの気力も体力もありませんが、今までやってきたことは間違いなかったと思えましたし、いろいろ取りこぼしている自分にも気付かされました。現場に復帰する時、もう一度この資料を見直します。
- ・ 専門看護師さんの話は大変心に残ります。
- ・ 充実した2日間で、多くの学びをいただきました。私は教育現場にいますが、このエンドオブライフケアは老年看護の醍醐味の一つとして非常に重要だと考えています。研修を通し、看護基礎教育の立場から新たな課題も見出すことができました。また、個人的にはなりますが、私自身の祖母を看取った実体験から、その人が唯一無二の存在として人生の最期を迎えられるかどうかは、エンドオブライフで出会う医療者のかかわりが大きく影響すると感じています。今日、多くの志を同じく抱いた方々と出会えたことが喜びであり、これだけの力が合わされば、きっと豊かな死を迎えられる時代がくと確信できました。
- ・ とても考えさせられ学ぶことができました。病棟に学びをフィードバックしていきたいと思えます。
- ・ 高齢者カリキュラムではありますが、すべての人への看護の基本がこの内容にあることを強く感じました。自身、家族、身近な人が、このような看護を受けられるといいなと思えます。日々の実践への振り返り、明日からの活動の動機付けになりました。
- ・ 2日間高齢者の特徴やそれを踏まえて支えていくためにはどうしたらいいのかを学ぶことができよかった。日々高齢者と関わる中で、私自身の中にも思い込みから看護をしてしまうことがあったためそこは改めて考え方や行動を考え直す必要があると気づかされました。またグループワークをしたことで自分では思いつかないような考え方も知ることができさらに学びになりとてもよかったです。貴重な学びをありがとうございました。

- ・ 内容が盛りだくさんで、モジュールの目標が達成できているか不安はありますが、テキストを振り返りながら実践し仲間づくりをしていきたいと思えます。
- ・ これまで老人看護について抽象的で焦点化できない印象があり、現場のケアに活かせていないことを課題に感じていました。しかし、貴重なご講演や主体的なディスカッションにより、高齢者をどのように理解するかが明確になりました。臨床への応用には、自身の行動変容が必要であり、システムを改善するためには、チーム・組織への発信力や交渉力が必要だと感じます。今後も学び続け、多様性を認め、他者と歩み寄りコラボレーションできるように、研修を活かせたらと思えます。
- ・ 以前は積極的に高齢者に介入し、介護福祉士や認知症ケアチームと協力していたが、コロナ病棟となり、介入中止され、また長時間関わられなかったりと、ずっともやもやした状態ではあったが、できることを探して実践し始めていたところでこの研修に参加できてできることはたくさんあると実感しました。今後の看護に生かしていきたいと思えます。
- ・ 日々、自身の業務に追われ、「今日はどんな看護をしたのかな？」と思うような日々が続いていました。講義を聞くことで、その日常から冷静に今の状況を整理する機会だったと思えます。また、自分自身の実践をどう後輩に見せるか・・・と考えていましたが、そもそも自分がそんなに出来てないなと気づきました。もう一度原点に戻り、私たちのやるべきことは何か考えられたと思えます。エレガントなケアが出来るよう努力したいと思えます。
- ・ 職場の看護師にも受講を進めたいくらい素晴らしい内容でした。
- ・ 学びが多すぎて何から実践しようか迷うほどです。グループワークがたくさんあったのがとても楽しかったです。志を同じくする人がこんなにもいると思うと、心強いです。また、これまでに自分と考えの違うスタッフとの衝突もありましたが、自分自身を見つめ直すよいきっかけになりました。自分だけの物差しではなく、他のメンバーと意見を交わすことがいかに大切か、2日間の研修でなんども感じました。
- ・ 視野を広げて物事を捉える大切さを学びました。今回の研修を通し、関わらせていただく入居者さんやその御家族に自分自身何が出来るのかを改めて考え学んだことを一つ一つ丁寧に実践していきたいと思えます。
- ・ 自分自身の日々のケア振り返る良い機会になりました。高齢者の尊厳を守ることが重要と言っても、具体的に何をすればよいのか曖昧だったのですが、本人に聞くこと・関心を寄せること・日々のケアを丁寧に行うこと・日常的なケアを振り返ること等々、それら全てが尊厳を守ることにつながっているのだと今回の研修で学ぶことが出来ました。今回の学びを現場で実践していきます。
- ・ 人生の完成におられる高齢者のかたに敬意を持ち、人生の先輩として高齢者の方から学ぶ姿勢を持ちながら関わっていきこうとこの研修を受けて決意しました。
- ・ 今迄、ずっと受講したかったのですが日程が合わず今回ようやく受講させて頂きました。ここの至るまで研修を計画実行下さった先生方に感謝しかありません。また、この2日間でワークをした仲間との繋がりは財産です。「全国に思いを同じくする仲間がいる」ことがこれほど、気持ちを前向きにするのかと感動しております。
- ・ 高齢者への関わりは難しいが、反省もありつつ前向きな気持ちになり貴重な研修を受けることができました。課題への取り組みががんばろうと思えます。
- ・ 日々、このような高齢者看護の提供でいいのだろうか？と自問自答していましたが、明日から自己が

高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケアの達成に向けた具体的な実践が明確となり、高齢者さんやご家族の方がこの病院を選らんでよかったと思って頂けるよう、スタッフと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

- ・ 高齢者のエンドオブライフケアを網羅したとても良い研修でした。グループワークを通して新たな気づきやパワーをもらいました。また、講師・ファシリテーターの皆様の進行や態度など学ぶことが多かったです。明日からも頑張ろうと思いました。また、職場でもこの研修を勧めたいと思います。
- ・ 深い学びと自己への戒めとなりました。
- ・ 念願かなって、参加させていただくことができました。講師やファシリテーターのみなさまの用いられる言葉一つひとつの感覚が、ケアリングに根差している日々を示しておられると感じました。研修中、自分が潤っていくのを感じ、「あ、乾いていたんだ」と気づきもしました。単に学びを継続する必要性だけではなく、学ぶことがケアになる、自身の立ち位置と目指すところを再認識することを実感しました。ここのところの行き詰まり感を打破する、幸せな時間をいただきました。ELNEC-J コアカリキュラムの講師として参加させていただいておりますが、運営のみなさまのご苦勞、お察しいたします。こうやってジャンルを超えてELNEC-Jのマインドが繋がりに続けていくことが、ケアの質を維持しケアさせていただく我々のモチベーションを維持していくには必須だと痛感します。
- ・ ELNEC-J コアカリキュラムは、何度もやっていますが最近では高齢の方と接する機会も多く、本当に、私が行っている看護がよいのか、老年期にある方の特徴を知り看護に活かしたり、家族と関わるときのアドバイスができればと思い参加しました。自己の看護の振り返りができたこともですし、明日から患者さんとののかかわる時に今までと違った目線で関わるのではないかと思います。参加して本当に良かったです。GWで他施設で働かれている方との交流もできて本当に良かったです。ぜひ、他のスタッフにもELNEC-J コアだけではなくELNEC-JGも進めたいと思います。
- ・ 日々高齢者との関わりやケアの中で、知識として知っていることがあっても、それをいかに実際のケアに結びつけることができているのか、できていなかったこと、視野が狭まってしまっていたことを感じ、改めて高齢者や家族への理解、ケアについて考えることができました。言葉として聞こえる声や目に見えることだけではない、言葉にならない思いやその人の声に心を寄せていけるように高齢者ケアに携わっていくとともに、実践していく中でスタッフに伝え、高齢者の尊厳を守るケアにつなげていきたいと思っています。
- ・ 外来の診療業務が流れ作業になっており、個別的に支援が必要と感じる場面もあるが、時間がないからという理由をつけて聞き流してしまうこともあり看護師としてどうかと葛藤することも多かった。そんな日々のケアを振り返りつつ、自身の感度の低下も感じた。2月で転職予定でもあり、漠然とであるが、めざしたい看護がみえたような気がした。また、新たな職場でエンドオブライフケアを実践し学びを深めていきたい。
- ・ 明日から、新たな気持ちでエンド・オブ・ライフケアに臨みたいと思います。
- ・ 盛りだくさんのなかで、もっと詳しく学びたいこと、自身の課題が具体的にいくつか見つけることができました。
- ・ 今回初めてELNEC-Jの研修に参加させていただきました。2日間内容が充実していて貴重な講義で大変勉強になりました。また、グループワークで色々な現場で働いている受講者の方と意見を交換したり、話あったりすることで看護の新たな視点や同じ思いを抱えていることがわかって、貴重な

体験ができました。 エンドオブライフにある高齢者のケアリングについて特に印象に残りました。コミュニケーション方法などは、今後の課題であるので、ケアリングを基盤としたコミュニケーションを意識して今後現場で患者さんとコミュニケーションを図りたいと思いました。

- ・ 1・2 日目と同じチームで思いや考えを共有でき、とても学びが深まりました。どの講師もすごく聞き取りやすく、また分かりやすい言葉で話されており頭によく入りました。適切に休憩時間もあつたこと、研修全体が温かい雰囲気だったことよりとても居心地がよかったです。自分のこれまでの看護を振り返るいい機会となったので、この学びを是非共に働くみんなと共有して、高齢者ケアに還元したいと思います！

【オンライン研修について】

- ・ また、オンラインで参加しやすかったです。助かります。
- ・ オンライン開催でのグループワークやロールプレイは初めてでしたが、十分に実施できるのだなと感じました。全国各地、様々な病院で働く、様々な職位の方々と同じ問題について共有し、意見交換ができたことは本当に良い機会であったと感じました。ここで学んだことをいかに生かすか、実践していくかが、この研修に参加した意味になると思うので、まずはここで学んだ知識を使って患者さんを看ることから始め、十分に実践していきたいと思います。さらには病棟スタッフに学び得たことを伝えていくことも、今日の研修を受けた受講者の新たな役割と感じているので、悩んでいるスタッフや迷っているスタッフの助けになれるように努めていきたいと思います。
- ・ コロナ禍で、対面でないデメリットもあるかもしれませんが、オンラインであることでこのように全国の方々と関わる事ができて大変貴重な経験ができました。
- ・ また、オンラインでの研修受講は初めてでしたが特に不安や不自由なく終えることができました。
- ・ 今回オンライン研修を初めて受講したので、ZOOM がうまく使用できるか不安でした。スムーズに研修を進行してくださり、また、インターネットがうまく接続できなかった際は、運営の方々がすぐに連絡して下さり、丁寧に教えていただきました。少し焦りましたが、安心しました。感謝いたします。また機会があれば、研修に参加したいと思いました。ありがとうございました。

【時間・費用等について】

- ・ 講義の時間、GW の時間どれもちょうどよい感じで学びも深められ、楽しい研修でした。
- ・ 盛り沢山の内容でしたが、とても有意義な研修でした。
- ・ 久しぶりに終日 2 日間という、また ELNEC-J のタイトスケジュールを再体験し、疲労困憊していますが受講して本当によかったです。
- ・ すべてのプログラムが実践を交えての講義であり、明日からの実践に繋がる講義でした。参加前は長時間であり 2 日間であるため、どこまで集中が持つかなど不安もありましたが、あっという間に時間がすぎるほど、充実しておりました。また、グループワークも 2 日間同じメンバーでしたので、短い時間でしたが同じクラスの仲間といった感覚になり、発言がしやすく感じました。グループも、病院、施設、在宅と多様でしたのでそれぞれの場のジレンマや高齢者看護の課題を知る機会にもなり、今後の連携の参考できるような情報も得ることができました。
- ・ 長い研修でありましたが、講師の方々、運営の方々の時間管理が素晴らしいと思いました。
- ・ 開催の日程を年度初めに提示して頂きたい。
- ・ 他で学ぶことができない、とても貴重で素晴らしいプログラムであるため、同僚に勧めたいと考えて

います。一方、研修費においては、(私は自費参加でしたが) 自費参加ですと、昨今の事情から難しいかと感じました。

- ・ 運営・講師・ファシリテーターの皆様のご苦労は十分承知の上で恐縮ですが、受講料がもう少し安ければ(非会員) みんなにも勧めやすいのになあと思いました。
- ・ 以前から周囲の人に良い研修だから受けるべきと言われ関心がありましたが、仕事との調整がつかず、また定員いっぱいの時も何度かありやっと受講することができました。2日間密な学びの時間となりました。

文責：群馬県立県民健康科学大学 戸谷幸佳